

NEWS RELEASE

NOHMI
能美防災株式会社

能美・防災支援システム クラウド型防災支援ソフト「**TASKis**」を発売 Task Information System

火災や事業継続計画（BCP）に係わる緊急時対応マニュアルの周知徹底と現場対応を支援
「安全」という価値を長期継続的に提供し対価をいただく「サブスクリプションモデル」でのサービス提供
TASKis®[読み：タスキス®]とは、task information system からの造語です。

国内防災最大手の能美防災株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：伊藤龍典、資本金 133 億 2 百万円、東証 1 部上場）は、BCPに係わる緊急時対応マニュアルの周知徹底と災害発生時の初動対応を支援するクラウド型防災支援ソフト「**TASKis**（タスキス）」を開発、2019年5月7日（火）に発売しました。

近年、企業において火災や地震などの災害を想定したBCPの策定が進む中、その維持管理と教育に費やす企業の負担は増大しています。企業の防災・安全担当者に自社のBCPの運用状況についてヒアリングを行ったところ、多くの担当者が「訓練を定期的実施することが難しく、マニュアルが形骸化している」と回答しています。

このたび発売する **TASKis** は、緊急時対応マニュアルにて規定されている行動指示情報（タスク）を、予めソフトに登録しておけます。災害発生時には、クラウドシステムより関係者のスマートフォンへ、行動指示情報（タスク）を通知します。また、現場でのタスク実施状況は、管理者のパソコン画面へリアルタイムに表示されます。

（**TASKis** のシステム概要と動作イメージは「別紙1」参照）

このシステムによって、関係者が仮にマニュアルの内容を忘れてしまっても、スマートフォン画面に表示される指示内容を見ながら行動することで、迅速かつ正確な対応を行うことが可能です。また管理者は、現場での対応状況を自席にしながら把握することができるため、迅速な対応と適切な判断を下すことができます。

TASKis は、これまで当社が主として取り扱ってきた「火災の感知と消火に関するソリューション」を補完するだけでなく、「防災に係わる“安全”という価値」を、より広く提供する新しいサービスです。当社では、本サービスをお客様の要望を反映しながら常にバージョンアップを加え、お客様へ長期継続的に価値を提供して対価をいただく「サブスクリプションモデル」にて提供していくと共に、このビジネスモデルを、今後継続的に発展させていきます。

当社は、**TASKis** の提供を通して、緊急時対応マニュアルの周知や運用でお困りの方々をなくすことを目指し、より安全で安心して暮らせる社会の実現に貢献していきます。

■本件に関する問い合わせ先

能美防災株式会社 第1技術部イノベーション推進室 担当：加藤 / 浅沼 TEL：03-3265-0225

以上

システム概要

- ▶ 火災・地震・工場の設備故障発生時など、非常時の行動指示情報（タスク）を、関係者のスマートフォンへ通知する機能
 - 関係者は、自分に割り当てられた非常時タスクをスマートフォンでいつでも確認・学習ができます
 - 関係者は、非常時タスクを忘れていたとしても、画面に表示されているタスクを実行することで適切な行動ができます
 - 管理者へのタスクの実施報告は、画面内のボタンをタッチするだけで完了できます
- ▶ 関係者からのタスク実施報告を、管理者のパソコン画面へリアルタイムに表示する機能
 - 管理者は、自席にいながら現場の状況を把握できます

例：工場棟内での火災発生を想定した「TASKis」の動作イメージ

